

一般質問での議員からの提言及び市当局の答弁



	政策的提言	提言要旨	当局の考え
1	パニック障がい患者等への行政の対応について	外見だけではわからない障がい者等、援助や配慮を必要としている方々が、周囲に配慮を知らせるための手段として「ヘルプマーク」「ヘルプカード」の導入が必要と考える。	パニック障がい患者や外見だけではわからない障がい者等が、配慮を得やすい有効な手段の一つであると考え、導入に向けて検討したい。
2	市内小中学校体育館の照明機器の整備状況について	大浜小学校の体育館は照明が半分程度切れており、卒業式には投光器を使用して対応していた。各学校の状況を確認し修繕が必要であるとする。	大浜小学校、川平小中学校、平久保小学校の体育館の電球の取り替えは、足場を組んでの作業となるため、夏休み期間を利用して取り替え作業を予定している。
3	八島小学校の虫害対策と改修について	海に近い八島小学校は、虫害により校舎に被害を受けており、いつ事故が起きてもおかしくない箇所もある。通常の修繕ではなく虫害に備えた整備や対策が必要であるとする。	現状では、その都度修繕を行っている。虫害による被害防止対策は行ってないが、立地条件等に応じた修繕を検討する必要があると考える。
4	新川小学校のプール建て替えについて	新川小学校のプールは築38年が経過し、コンクリートのはく離や劣化装置の不具合等、子どもたちが安心して授業できる環境ではない。新しく立て替える必要があると考える。	国は校舎の耐震化を優先しており、屋外プールの建て替え事業については、校舎の耐震化率が100%達成されていないと、補助事業採択が厳しい。早期の建て替えに向けて県と調整したい。
5	無料公衆無線LAN(iwi-fi)の増設について	外国人観光客に通信サービスを提供するだけでなく、外国人観光客を含め国内観光客の動向や様々なニーズを情報として集約することができると考え、無料公衆無線LAN(iwi-fi)の増設が必要と考える。	特にニーズの高いアクセスポイントに対してアンテナの増強などエリア強化が必要と考える。整備費用や設置後のランニングコスト等課題もあるが、安心で快適に過ごすことのできる環境整備に努めたい。
6	消防行政について	全国的に空港消防業務は民間に委託する流れになっている。本市においても空港消防業務を民間に委託すれば本署業務の充実強化等メリットが大きい。民間委託を検討する必要があると考える。	空港消防業務の民間委託については、空港内の人命に関わる消火救難業務であるため調査研究に時間を要しているが、本市として民間委託の方向性が定まったので、早急の実現に向け取り組んでいきたい。
7	道路冠水対策について	去る4月26日の集中豪雨では、多くの場所で道路が冠水し、市民生活にも大きな影響が出た。特に市道真栄里南大浜線は慢性的に冠水が発生しており、根本的な冠水対策が必要と考える。	南大浜地域の対策については旧空港跡地利用の計画や都市下水道事業の整備による中長期的な対策と短期的な即効性のある改善が図られるよう取り組んでいきたい。
8	尖閣諸島問題について	尖閣諸島の字名変更については、これまでの一般質問においても、然るべき時期に行うとの答弁があったが未だに進展がみられない。すでに然るべき時期が到来していると考えられる。	庁内でしっかり調査検討している。字名のどこかに「尖閣」の文字を入れられないか検討しており、近々議会に上程し承認をいただければ字名の特名変更したい。
9	自衛隊配備計画について	市長は自衛隊配備に反対する候補地周辺の4公民館と会う機会を設け、意見を聞く必要があると考える。	会うことを拒否しているわけではなく、手続承認を撤回しないと言われないということなので会っていない状況にある。市長としてぜひお会いして、どのような意見でも聞かせて頂きたいと考えている。
10	防犯灯整備について	新栄町・浜崎町では多くの住民が居住しており、学校へ通う児童生徒も多いが、防犯灯が少なく、防犯灯の設置が必要と考えるが、設置計画は。	本年度、内閣府沖縄総合事務局の沖縄安全対策事業補助金を活用して全島で防犯灯を350基設置する。設置箇所については公民館や関係機関からの意見を聴きながら選定したい。
11	市内バス停への屋根設置について	徳洲会病院前のバス停は、病院へ通院する人や老人福祉センターの利用者が多く、急な雨や強力な日差しを避けるための上屋設置が必要と考える。	国道・県道に設置されている上屋は道路改修時に設置された。本市としては単独事業や一括付金事業での設置を考えている。徳洲会病院前は道路改修時に要請したが、設置には至っていない。
12	観光施設のネーミングライツについて	観光局や指定管理外部評価員から観光施設の利便性が悪いなどの指摘がある。ネーミングライツ導入による観光施設の維持管理の財源確保を検討する必要があると考える。	ネーミングライツ導入のメリットについて住民合意を図り、理解を得る必要があると考える。本市におけるネーミングライツの位置付けや導入対象施設の考え方など、取り組みの方向性については庁内横断的に検討していきたい。
13	空家(危険家屋も含む)対策事業について	危険家屋を含む空家対策については、空家等対策計画策定の前に、関係各課の足並みを揃え、庁内の意見を反映させる連絡会議を立ち上げる必要があると考える。	空家対策に対する事業は全庁的に進むものと認識している。関係部局を招集した庁内連絡会議を8月末までに立ち上げ、空家等対策計画の作成に努めたい。